

ほし組だより

令和2年8月3日(月)
尚徳福祉会 井荻保育園



8月号



もうすぐ夏本番！子ども達は、外に行くことを楽しみにしています。園庭では、異年齢児との関わりを喜び一緒に遊んだり、お友だちが困っているのを見かけると助けてあげる姿もあります。子ども同士の関係がより深めていかれるように引き続き見守っていきたいと思います。

8月うまれのおともだち

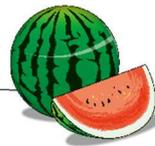


お誕生日おめでとうございます。

8月のねらい



- ・保育者と関わりながら夏の開放的な遊びを楽しむ
- ・甘えや要求を満たしてもらいながら動作や言葉で自己主張する。



～クラスの様子～



大人やお兄さんお姉さんたちに対する憧れの気持ちがいっぱいなほし組の子ども達です。食べ終えた後の食器を重ねたり、テーブル拭きで机をピカピカにしてくれることもあります。また、外に遊びに行くときには、お友だちの分まで靴下を用意してくれることもあります。「ありがとう」とお礼を言うと、受け止められた思いがさらに大きく育ち、積極的な姿が園生活で見られます。

～絵本の紹介～

「くだもの」

平山 和子



絵本から食材に名前があることを知り、給食にその食材が出ると認識をしながら味わって食べています。食材を身近なものと感じられるように始めたトマトの栽培にも育っていく姿に関心を持ち可愛い手をそっと添えてみたりする姿も見かけます。子どもにかかわる様々な環境が次につながるように保育をしていきたいと思ひます。



様々な 素材への感触

砂場での異年齢児との関わりは、子ども達にとって遊びが展開していく魅力的な時間です。あこがれの気持ちが育ち、自分もやってみたいと挑戦したり、真似をしたりしています。

そして、これからは待ちに待った夏がやってきます。夏ならではの遊びを、子ども達が存分に楽しめるように汚れてもよいシャツとズボンをビニール袋(氏名記入)に入れてお持ちください。

また、登園時にオムツが濡れたままの姿があるようです。次の活動へスムーズに移れるよう、オムツが汚れていないか確認のご協力をお願いいたします。